あおぞらニコニコ通信
令和５年度12月号

社会福祉法人三田谷治療教育院　明石市立あおぞら園・きらきら
〒674-0092 明石市二見町東二見 1836 番地の１
ふれあいプラザあかし西 ２階
TEL. 078-945-0280 FAX. 078-945-0281
E-Mail : aozorakirakira@sandaya.or.jp
あおぞら園 QRコード

いつも笑顔！　飯塚園長ごあいさつ

あおぞら同窓会（OB 会）の様子

最近インフルエンザが流行していますが、皆様大丈夫ですか？

あおぞら園職員も、子どもさんが感染するケースが何人かあり休んでいます。

今月は、あおぞら園を卒園された親子に「OB 会」と称して、久しぶりに来ていただきました。毎年卒園２年目くらいを対象にしていましたが、この度は、私も何年かぶりに戻りましたから、卒園された方も小学校高学年、中学校対象にさせていただきました。

あおぞら園の支援目標に「将来を見据えた支援」をうたっていますので、職員にも、関わっていた子ども達が数年後にどのように生活されているかを知り、その上で現療育に生かせないかをしっかり考えてもらうことが目的です。また、保護者の方が、生活上お困りのことがあった場合に、少しでも相談に乗れれば幸いかなと思っています。

日々の療育に毎日、一生懸命取り組んでいる職員には頭が下がります。その上で子どもの育ちをフォローする立場の者は、人間力（共感する力・探索する力などなど）が必要です。職員には、色々な経験をした上で、主体的に考え行動する力をつけてもらえたらと、願っています。

人材育成！多機関連携！～サービス管理責任者・児童発達支援管理責任者連絡会～

事例発表を行った大向主任（左から２人目）

11 月 17 日に行われた明石市地域自立支援協議会主催の「サービス管理責任者・児童発達支援管理責任者連絡会」の企画、運営に携わらせていただきました。

サービス管理責任者・児童発達支援管理責任者間の繋がりを作り、事業所間の連携強化や業務についての意見交換や実践報告、相互学習に取り組んでいくために立ち上げられ、昨年度に続き第二回目を無事開催することができました。

当日は、多忙な業務の中、沢山の方に参加をしていただきました。今年度は、「人材育成」、「多機関連携」をテーマに実践報告や意見交換、パネルデスカッションなどを行いました。

感じたことは、70 名近くの方が参加され、他事業所との連携や繋がりを持つことが必要だと思っている方がたくさんいるのだと感じました。また、サービス管理責任者、児童発達支援管理責任者同士が顔の見える関係になることで、スムーズに連携を行ったり得意な分野で支援を行うことができて、利用される方々の生活の手助けになっていくと思います。

明石市内には就労支援事業所や放課後等デイサービス、児童発達支援事業所がたくさんあります。他事業所がどのような事業をしているのか、利用される方々にどのような支援を行っているのかを知ることで、一人ひとりに合った生活の場の情報が可能です。そのために、今後も事業所間での連携や情報交換ができるように、児童発達支援センターとして努めていきたいと思います。（大向）

三田谷フェスティバルに行ってきました♪～３年ぶりの法人イベント～

缶バッチ作りコーナーの様子

11 月 3 日に芦屋市にある当法人三田谷治療教育学院での三田谷フェスティバルに参加しました。

あおぞら園・ゆりかご園共に缶バッチ作りのコーナーの担当をさせていただきました。缶バッチは子どもたちに人気で一生懸命に絵を描く姿やその描いた絵が目の前で缶バッチになる様子をまじまじと見ている姿がとても愛らしく完成した缶バッチを付けた姿はキラキラの笑顔で私まで嬉しく感じました。

その他に地域交流ホールではダンスを披露するグループが素敵なダンスを披露していた姿が印象的でした。屋外では、焼きそばやカレーライス、唐揚げポテトにフランクフルトと美味しい出店のコーナーやお野菜売り場にフリーマーケットのコーナーと施設の利用者さんが頑張っている姿がとても素敵だなと感じました。コロナ明けて３年ぶりの開催だったようですが私は初めての参加でしたが地域の方々との交流が深い様子を感じることができたイベントでした。（水田）

よりよい問題解決に向けて～あおぞら園ゆりかご園合同相談支援ミーティング～

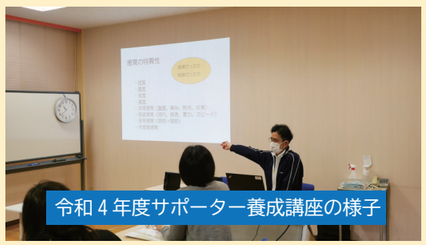
相談支援事業「そよかぜ」スタッフ

令和５年 10 月から月１回、園長とゆりかご園、あおぞら園の相談支援スタッフ５名が集まり、「あおぞら園ゆりかご園合同相談支援ミーティング」を実施しています。

このミーテングでは、事例検討と、社会課題の抽出、社会資源の紹介などを目的とし、事例に対して質問したり、対応についても一緒に考えると共に「以前このような方法で、このサービスを使ったことがある」など、具体的なサービスの活用方法や、フォーマル、インフォーマルなサービスの紹介なども話し合いました。その中で、私たちでは対応が難しい案件では、基幹相談支援センターでの相談支援連絡会で問題提議として発表したり、飯塚園長の幅広いネットワークにて、解決の方向性を探っている状況です。

これからも、お子様やご家族のお話を丁寧に伺いながら、ご希望される毎日を送ることができるよう、あおぞら園ゆりかご園の垣根を越えて、一緒に取り組んでいきたいと考えています。（小坂田）

療育について知る機会を！～令和５年度サポーター養成講座～


令和４年度サポーター養成講座の様子

１月 15、16 日に「令和５年度サポーター養成講座」を行います。

あおぞら園に通っているお子さまたちのことを知っていただきたい思いから、明石市民の方をお招きして「サポーター養成講座」を毎年行ってきました。昨年からは明石市立ゆりかご園と合同での開催となり、それぞれの園での講義と園内の見学もしていただく形になりました。あおぞら園は知的発達、ゆりかご園は身体面での発達に支援が必要なお子さまが通う施設ですので、この講座に参加することで早期のお子さまへの療育について全体的に知っていただくことができます。

昨年、参加された方からは「みなさん日々楽しまれて、一人一人違っている事をすごく感じました。」、「子ども一人一人感じ方は違うから、そこを大事に関わって行く事が大事だと勉強になりました。」などの感想をいただきました。

これからも地域の方に発信しつつ、皆さまとの輪を広げていけたらと思います。（吉川）